

アスリート委員会規程

(第1章 総 則)

第1条 公益財団法人全日本柔道連盟（以下、「本連盟」という）定款第42条により設立する専門委員会である、アスリート委員会について定める。

(第2章 委 員)

第2条 委員会は、10名から14名の男女同数の委員で構成し、次の役職を置く。

委員長 1名

副委員長 若干名

- 2 任期中にアスリート委員が辞任した場合には、上記の規定にかかわらず、男女が同数でなくてもよい。

第3条 委員となる資格は、本連盟登録選手のうち、A強化選手、B強化選手、及び委員選出の日から過去8年以内にそのいずれかに該当した者、および形代表選手、視覚障害代表選手とする。

第4条 委員は、立候補と推薦による候補者の中から選任される。アスリート委員会は、任期満了の4か月前までに6名の選考委員を選び、この6名で構成する選考委員会が次期アスリート委員を候補者の中から決定する。

- 2 選考委員会はアスリート委員4名（男女各2名）、外部委員1名、本連盟事務局員1名で構成する。
- 3 選考委員会は結成後速やかに、アスリート委員になる資格を持つ者に選考委員会の設置を周知する。
- 4 アスリート委員に立候補を希望する者は、当期委員の任期満了の3か月前までに、選考委員会に対して書面で立候補を表明する。アスリート委員候補を推薦する者は、被推薦者の了解を得た上で選考委員会に対して書面で推薦する。

第5条 委員長、副委員長は、委員が互選し、委員長は理事会、副委員長は常務理事会の承認を得て、会長が委嘱する。

- 2 委員長はその選出後最初の本連盟評議員会に対し、本連盟理事として推薦される。

第6条 委員長は、委員会を代表し、委員会の会務を掌握する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 委員長および副委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がこれを代行する。
- 4 委員は、日常の活動に参加し、業務を処理する。

(第3章 任 期)

第7条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した委員の補欠または増員として選任された委員の任期は、退任した委員または現任者の任期の満了するときまでとする。

(第4章 委員会)

第8条 委員会は、委員長、副委員長および委員をもって構成する。

2 委員会は、委員長が必要に応じて招集し、その議長となる。

3 委員長は必要に応じて、委員以外の者をオブザーバーとして委員会に招く事ができる。

第9条 委員会は委員総数の過半数の出席で成立し、出席者の過半数でこれを決定する。

2 緊急を要する場合には、委員長がこれをEメールなど電子文書により議決に附して決定することができる。但しその場合には、次の委員会で委員長が報告しなければならない。

第10条 委員会の扱う議題は、以下に挙げる項目を対象とする。

(1) ドーピング防止に関すること

(2) 女子選手の役割の拡大に関すること

(3) 現役引退後の選手の生活設計に関すること

(4) オリンピック・ムーブメントを初め、柔道やスポーツに関わる教育に関すること

(5) 柔道の普及、とくに子供やジュニア層への普及に関すること

(6) 国際交流に関すること

(7) 社会貢献に関すること

(8) 社会に於けるロールモデルとしての選手の役割に関すること

(9) 環境問題に関わること

(10) JOC アスリート委員会との連携に関すること

(11) その他、選手に直接関係する事項

第11条 委員会は、上記第10条に定める活動を行いまた指導し、その関連事項を処理し、委員長が理事会に報告する。ただし多額の出費を要する案件など重要事項の決定については理事会の事前の承認を得なければならない。

附則

1、この規程は平成25年8月1日から施行する。(平成25年8月1日制定)

2、第3条、第4条の規定にかかわらず、本規程発効後第1回目のアスリート委員の選出に関しては、常務理事会の議決を得て10名から14名の男女同数の委員を任命する。

3、第11条の規定に関わらず、本規程発効後発足初年度の活動については常務理事会の議決をもって所轄事項の業務を執行できるものとする。

4、第4条による決定方法は細則にて別途定める。

第一次 アスリート委員会 委員

2013.8.6 時点

	氏名	所属	生年月日	経歴
強化	こんどう しゅうさく 近藤 秀作	西日本高速道路 (現役時は日本道路公団)	1975年6月9日	1997年チェコ国際 優勝 1998、99、2001年全日本選抜体重別 3位 1998年講道館杯 3位 2001年太平洋選手権 優勝
強化	すずき けいじ 鈴木 桂治	国士舘大学	1980年6月3日	2003年世界選手権(大阪) 優勝 2004年アテネオリンピック 優勝 2005年世界選手権(カイロ) 優勝 2010年世界選手権(東京) 3位 2004、05、07、11年全日本選手権 優勝
強化	おの たかし 小野 卓志	学校法人 了徳寺学園	1980年6月25日	2005、08、10、13年全日本選抜体重別 優勝 2005年世界選手権(カイロ) 3位 2008年北京オリンピック 代表 2009年世界選手権(ロッテルダム) 代表 2011年世界選手権(パリ) 3位 2013年世界選手権(リオ) 代表
強化	男性1名調整中			
強化	あない たかまさ 穴井 隆将	学校法人 天理大学	1984年8月5日	2009年世界選手権(ロッテルダム) 3位 2010年世界選手権(東京) 優勝 2011年世界選手権(パリ) 代表 2012年ロンドンオリンピック 代表 2009、13年全日本選手権 優勝
強化	たなべ ようこ 田辺 陽子	日本大学	1966年1月28日	1987年世界選手権(エッセン) 3位 1988年ソウルオリンピック 3位 1989年世界選手権(ベオグラード) 2位 1991年世界選手権(バルセロナ) 2位 1992年バルセロナオリンピック 2位 1995年世界選手権(幕張) 3位 1996年アトランタオリンピック 2位 1987～92年皇后盃全日本女子選手権 優勝
強化	かいやま ひとみ 貝山 仁美	三井住友海上 火災保険	1977年10月27日	2002年福岡国際 2位 2003、04年全日本選抜体重別 2位 2003年チェコ国際 優勝 2005年環太平洋選手権 優勝
強化	ふくみ ともこ 福見 友子	学校法人 了徳寺学園	1985年6月26日	2009年世界選手権(ロッテルダム) 優勝 2010年世界選手権(東京) 2位 2011年世界選手権(パリ) 2位 2012年ロンドンオリンピック 5位
強化	くにはら よりこ 國原 頼子	自衛隊体育学校	1985年11月20日	2008、10年講道館杯 優勝 2007、10、11年全日本選抜体重別 優勝 2010年世界選手権(東京) 3位 2011年世界選手権(パリ) 3位
強化	女性1名調整中			
形	はまな ともお 濱名 智男	神奈川県警察	1965年8月10日	2009、10、11年世界形選手権 優勝 (講道館護身術)
形	おおもり ちぐさ 大森 千草	大森接骨院	1969年9月2日	2009、10、11、12年世界形選手権 優勝 (柔の形)
視覚障害	ひろせ まこと 廣瀬 誠	名古屋盲学校	1976年11月22日	1998～2009、11、12年 全日本視覚障害者柔道大会 優勝 2004年アテネパラリンピック 2位 2008年北京パラリンピック 7位 2012年ロンドンパラリンピック 5位
視覚障害	よねだ まゆみ 米田真由美	三井住友海上 あいおい生命保険	1982年9月5日	2007年全日本視覚障害者柔道大会 優勝 2010年アジアパラ 2位 2012年ロンドンパラリンピック 代表